

## 10 月 27 日は読書の日。 電子書籍サービス「○○」と連携した読書管理アプリ 「●●●●」を本日リリース

11 月 9 日までの読書期間中、「○○」で利用できるポイントのプレゼントキャンペーンを実施

株式会社 PR TIMES（本社：東京都港区、代表：山口 拓己）は、読書の日である本日 2021 年 10 月 27 日（水）に 100 万冊以上の品揃えを誇る電子書籍サービス「○○」を運営する株式会社○○と業務提携を締結し、「○○」と連携した読書管理アプリ「●●●●」の iOS 版をリリースしました。「○○」と連携した読書管理アプリは初めてのリリースとなります。年内に Android 版もリリースする予定です。  
「●●●●」では紙の書籍の記録はもちろん、「○○」と連携することにより電子書籍で読んだ本のページ数や冊数が自動で記録され、管理できます。また本日から 11 月 9 日までの読書期間中にキャンペーン URL からダウンロードいただいた方へ、「○○」で利用できるポイント 500P をプレゼントするキャンペーンを行います。  
【ダウンロード URL】<https://～～>



### どの本をどこまで読んだか自動で管理。読書量が一目瞭然に

これまでの読書管理アプリでは、電子書籍で読んだものでも手動で記録を入力する必要がありましたが、開発担当や読書家の皆さんの声を元に開発を開始。「○○」とタグを組み、今回のローンチに至りました。「●●●●」では「○○」とアカウントを連携することにより、自動的に読んだ本とページ数、日付が記録され、日々の読書量が一目瞭然になります。本の冊数とページ数はグラフ化され、日々のペース管理や目標立てもしやすく、読書週間が身につきます。もちろん紙で読んだ本についても、手動での記録が可能。「○○」ユーザー以外の皆さまにも、読書量の管理に使っていただけるアプリです。



各書籍の記録の画面



冊数とページ数のグラフ

季節性やトレンド、社会性・地域性など、メディアフックを捉えたキーワードを冒頭に置くことがポイントです。○○の日というような記念日も「メディアがなぜ今取り上げるのか」という根拠になります。

### 【起承転結・展】

プレスリリースの要旨やサービスの重要な特徴は、ファーストビューであるリード文に記載しましょう。開発背景などよりも先に、絶対にニュースで取り上げられるファクトを先に伝えることをおすすめしています。

### 【起承転結・展】

起：商品開発のきっかけ（課題）

承：作り手やユーザーの声、想い

転：パートナーとの提携

など、サービスに深く紐づく場合は、簡単に概要を示すのも手です。後半のコメントなどで詳細を示していきましょう。

## ○万人の利用者データを元にしたレコメンド機能も充実し、読みたい本を手軽に見

累計○万人の利用者を誇る「○○」に蓄積されたデータを元に、読書記録から次に読みたい本をレコメンドする機能も搭載。登録された口コミを参考に、「読みたい・知りたいと思っていた情報と違った」「さらに詳しい情報も知りたい」など、ニーズに応えた書籍を紹介。とっておきの一冊を手軽に見ることができます。

## 読書量に応じて「○○」で使えるポイントを付与。自然と読書習慣が身につきます

記録された読書冊数・ページ数は、月単位で「○○」で使えるポイントに変換されます。次の書籍を購入する際に活用できるため、自然と読書習慣が身につきます。また 11 月 9 日までの読書週間中は、リリースキャンペーンとして、キャンペーン URL から「●●●●」をダウンロードした方に 500P をプレゼント。これから読書の習慣を身に付けたいという方も、この期間を機に初めてみてはいかがでしょうか。

### <ポイント変換>

100 ページ読了につき 5P、1 冊読了につき 10P を付与。

※「○○」で読み自動記録されたページ数・冊数のみがポイント変換されます。手動で記録されたページ数・冊数については「○○」と連携したアカウントでもポイント変換はされません。

### <読書週間キャンペーン概要>

実施期間：10 月 27 日（水）10 時～11 月 9 日（水）23 時 59 分

キャンペーン URL：https://～～

※キャンペーン URL を経由せずにダウンロードした場合、ポイントが付与されないためご注意ください。

## 今後の展開

Android 版のリリースは年内をめどに調整しています。他の電子書籍サービスとの連携も随時進めてまいります。またレコメンド検索機能の充実や、好きな本・著者・ジャンルなどをブックとした読書家のコミュニティサービスのリリース、オンライン・オフラインでのイベントなども実施していく予定です。素敵な読書ライフの一助になるよう、これからも様々な取組みを続けてまいります。

## 担当者コメント

### 株式会社○○ マーケティング本部「○○」担当・○○○○ コメント

「○○」のローンチから 2 年半、当社としてもいつか実現したいと考えていた読書アプリとの連携をこの度、PR TIMES 様とさせていただくことになりました。商品企画部の●●さん筆頭に、プロジェクトメンバー全員で読書家のことをまっすぐに考えた、ユーザーライクなアプリになっています。やっと世の中にローンチでき、心から嬉しく思っております。自信を持って、読書家の皆さんにお勧めしたい、そして読書家のたまごの皆さんには、ぜひ「●●●●」を機に読書ライフをスタートしてほしいです。

プロフィール写真

サービスのローンチと同時に行うキャンペーンはあくまでも“おまけ”です。先にサービス内容の紹介を行い、後半に記載しましょう。

## 【起承転結・展】

未来に向けてをプレスリリースに記載することで、「今後もこの企業を応援したい」という新たなファンの獲得にもつながります。

商品・サービスの特徴だけでなく、どのような背景・きっかけで開発されたのか、担当者の想いや行動が伝わることで、メディアや生活者の共感をより得やすくなります。

複数の企業が関与するプレスリリースの場合は、各担当者のコメント掲載をおすすめします。

## 株式会社 PR TIMES 商品企画部「●●●●」担当・●●●● コメント

「○○」は私も読書家の一人として、日頃から使っている電子書籍サービスです。今回「●●●●」をローンチするにあたり、株式会社○○様という強力なパートナーとご一緒でき、大変光栄に感じております。改めて開発にあたり一から共に進めてくださった○○の皆さまに感謝申し上げます。

紙の本も、電子書籍の本も、それぞれの良さがあります。一人のユーザーとしても、毎日使いたくなるアプリを目指し、開発を続けてまいりました。さっそく私自身、「●●●●」を愛用しています。

読書家の皆さまが「●●●●」を通して、より充実した読書生活を送っていただけることを心より願うとともに、これからもサービスの向上に努めてまいります。

プロフィール写真

## 株式会社○○について

### 会社説明文

#### 【会社概要】

社名：  
本社所在地：  
代表取締役：  
事業内容：  
設立：  
事業内容：  
HP：

## 株式会社 PR TIMES について

### 会社説明文

#### 【会社概要】

社名：  
本社所在地：  
代表取締役：  
事業内容：  
設立：  
事業内容：  
HP：